



ふじみまち たつざわ だいきほ すいでんちたい  
**富士見町 立沢大規模水田地帯**

裏面地図 ①



写真/玉置弘文氏提供

茅野市方面から山梨県方面への幹線道路や付近の水田地帯から視野を遮ることなく富士山が見られる。特に、空気の張りつめた冬の朝、八ヶ岳裾野から昇る朝日に染まった富士山が美しい。

ふじみまち ふじみこうげん そうぞうのもり  
**富士見町 富士見高原創造の森**

裏面地図 ②



写真/玉置弘文氏提供

富士見高原創造の森は、八ヶ岳山麓の標高1,400mの高台にある屋外彫刻公園で、国内外の彫刻家の芸術作品を展示している。園内の展望台から、富士山の遠望や手前に広がる樹海などが見られる。

ふじみまち くずくは ちゅうおうどう  
**富士見町 葛窪中央道トンネル**

裏面地図 ③



写真/玉置弘文氏提供

富士見町の市街地から中央自動車道小淵沢ICへ向かう幹線道路からの眺望ポイントになります。特に八ヶ岳の稜線から日が昇り手前の林を抜けるまで10分程度の時間を要することから、茜色に染まった富士山が長く見られます。また中央道を首都圏に向かう車のテールライトと富士山の景観も見どころです。

**浮世絵に描かれたことのある地点**

浮世絵の始まりは17世紀半ばといわれており、『見返り美人』の作者としても有名な菱川師宣によって始められたというのが一般的な定説となっているようです。

「関東の富士見百景」選定景の中には、江戸時代、安藤（歌川）広重や葛飾北斎による浮世絵の一枚として富士山に見える風景の描かれた地点があります。当時の浮世絵と見比べながら、現代の富士山と比べてみるのはいかがでしょうか。

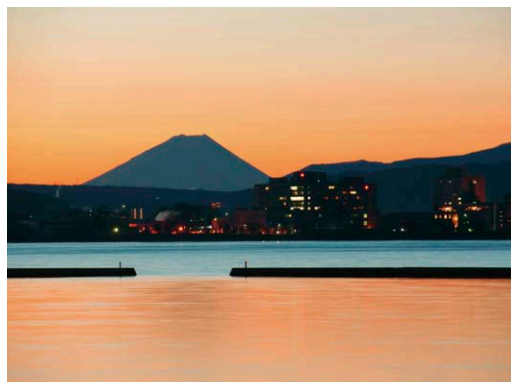


葛飾北斎の富嶽三十六景「信州諏訪湖」(下諏訪町 湖浜)

資料提供/信州小布施 北斎館

しもすわまち こはま  
**下諏訪町 湖浜**

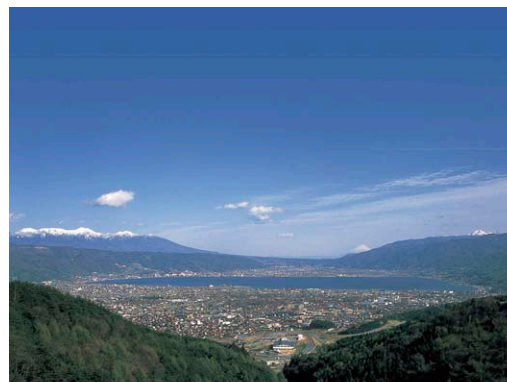
裏面地図 ④



下諏訪町は、諏訪大社の門前町、また中山道・甲州道中の温泉宿場町として古くから栄えたところ。湖浜からは、湖越しに西日に映える富士山が見られる。

おかやし えんれいおのだちこうえん てんほうだい  
**岡谷市 塩嶺御野立公園 展望台**

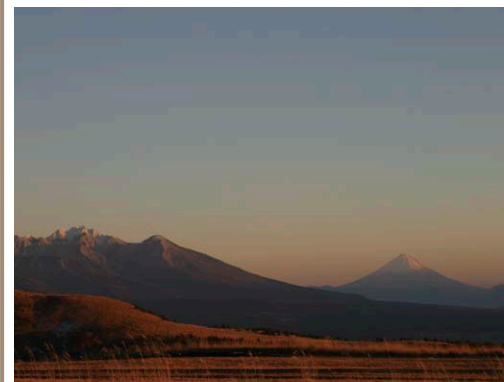
裏面地図 ⑤



塩尻峠は旧中山道の要衝にあたり、現在は都市公園となっている。展望台から、諏訪湖の向こうに遠く富士山、右に南アルプス、左に八ヶ岳連峰が見られる。周囲は「小鳥の森」に指定され、塩嶺の小鳥のさえずりは「日本の首風景百選」にも認定。

すわし きりがみねこうげんふじみだい  
**諏訪市 霧ヶ峰高原富士見台**

裏面地図 ⑥



諏訪湖から生まれた雲が高原をおおい、草花に結んだ露が高層湿原を育み、夏には可憐な花々が咲き、冬には暁の雲海と日の出が見られる。夕日に染まる山々や日没後の薄紅色の山ざわが青い空に解けて幻想的な、撮影の好適地。



アクセス方法

④ 下諏訪町 湖浜

- JR中央東線下諏訪駅から徒歩20分。
- 下諏訪駅から町循環バス「あざみ号」で約20分、循環線赤砂方向「ハーモ美術館前」下車

⑤ 岡谷市 塩嶺御野立公園 展望台

- 長野自動車道岡谷ICから約10分。岡谷市街から国道20号塩尻方面、峠付近の歩道橋を右折

⑥ 霧ヶ峰高原富士見台

- 中央自動車道諏訪ICから約16km。
- 国道20号線「元町」信号機右折
- JR中央東線上諏訪駅よりバス（約40分）。



アクセス方法

① 立沢大規模水田地帯

- JR中央東線富士見駅よりタクシー10分。
- 中央自動車道諏訪南IC下車、ハケ岳ズームライン「中新田南」信号機右折、県道を経由して直進約1km。ICから車で5分。

② 富士見高原創造の森

- JR中央東線小淵沢駅よりタクシー10分。
- 中央自動車道小淵沢IC下車、「大平」信号機左折、鉢巻道路を直進し、「富士見高原シンボル塔」右折、ICから車で10分。

③ 葛窪中央道トンネル

- JR中央東線小淵沢駅よりタクシー10分。
- 中央自動車道小淵沢IC下車、「馬術競技場入口」信号機左折、町道を経由して直進約1km。ICから車で5分。